資料５－１

北部循環市立病院線のルート改善について

① 検討の進捗状況

【STEP1】問題点・課題整理および改善案（素案）の検討

現状の問題点・課題の整理

・北部循環市立病院線の利用状況、収支状況の整理
・地域特性（人口分布等）の把握
・乗り込み調査による実態把握

北部循環市立病院線の改善案（素案）の検討

【STEP2】改善案（素案）に対する意向の把握

アンケート調査（今後実施予定）

・地域での移動実態の把握
・バス利用の際の行先ニーズの把握
・今後の利用意向

住民説明会（現在実施中）

・改善案の説明
・改善案に対する意向の把握

現段階

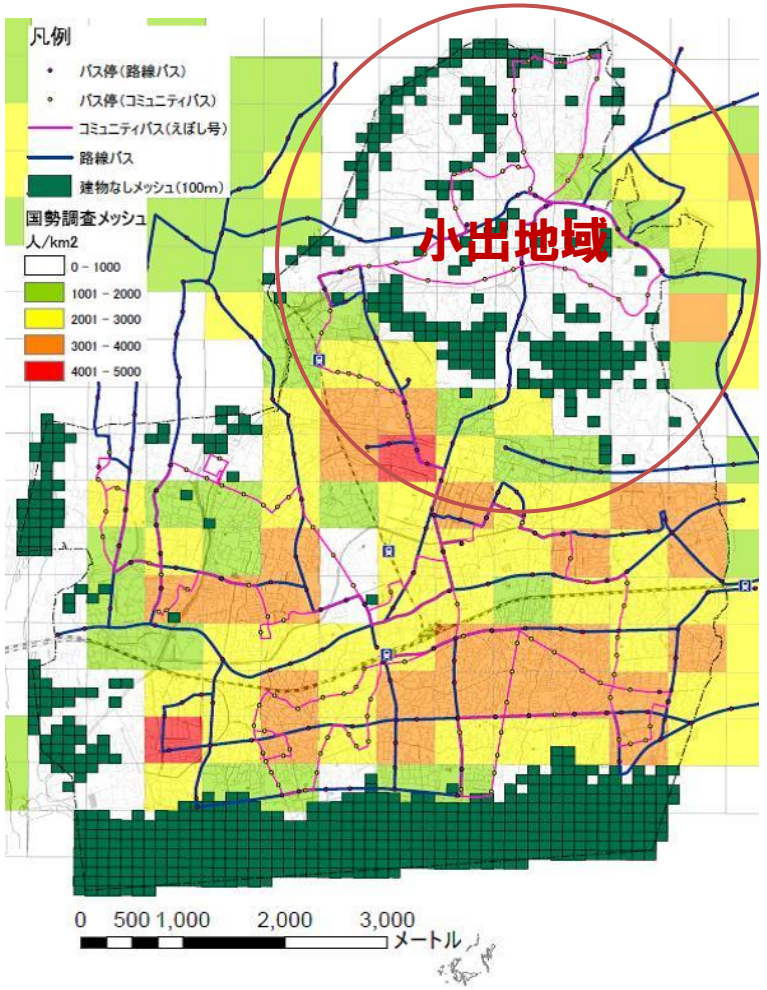
【STEP3】改善案の策定

北部循環市立病院線の改善案の策定　※交通会議での合意形成

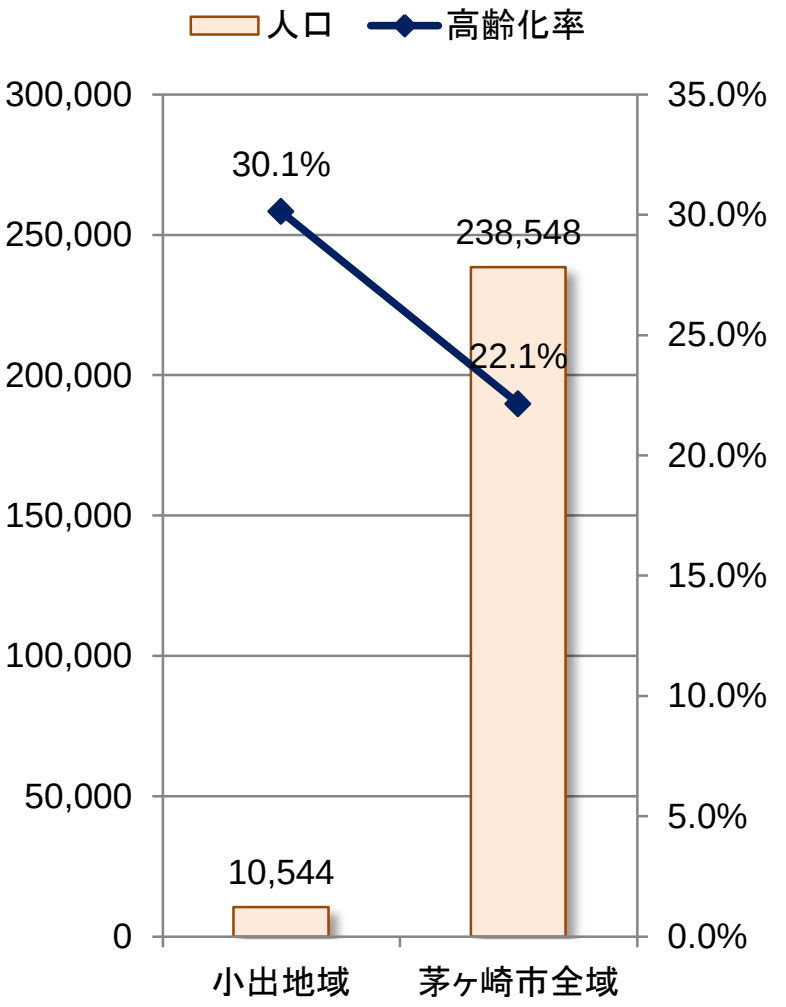
② 現状の問題点・課題の整理

●小出地域の地域特性

・低い人口密度、住宅地の分散立地



・高い高齢化率



② 現状の問題点・課題の整理

●北部循環市立病院線の概要

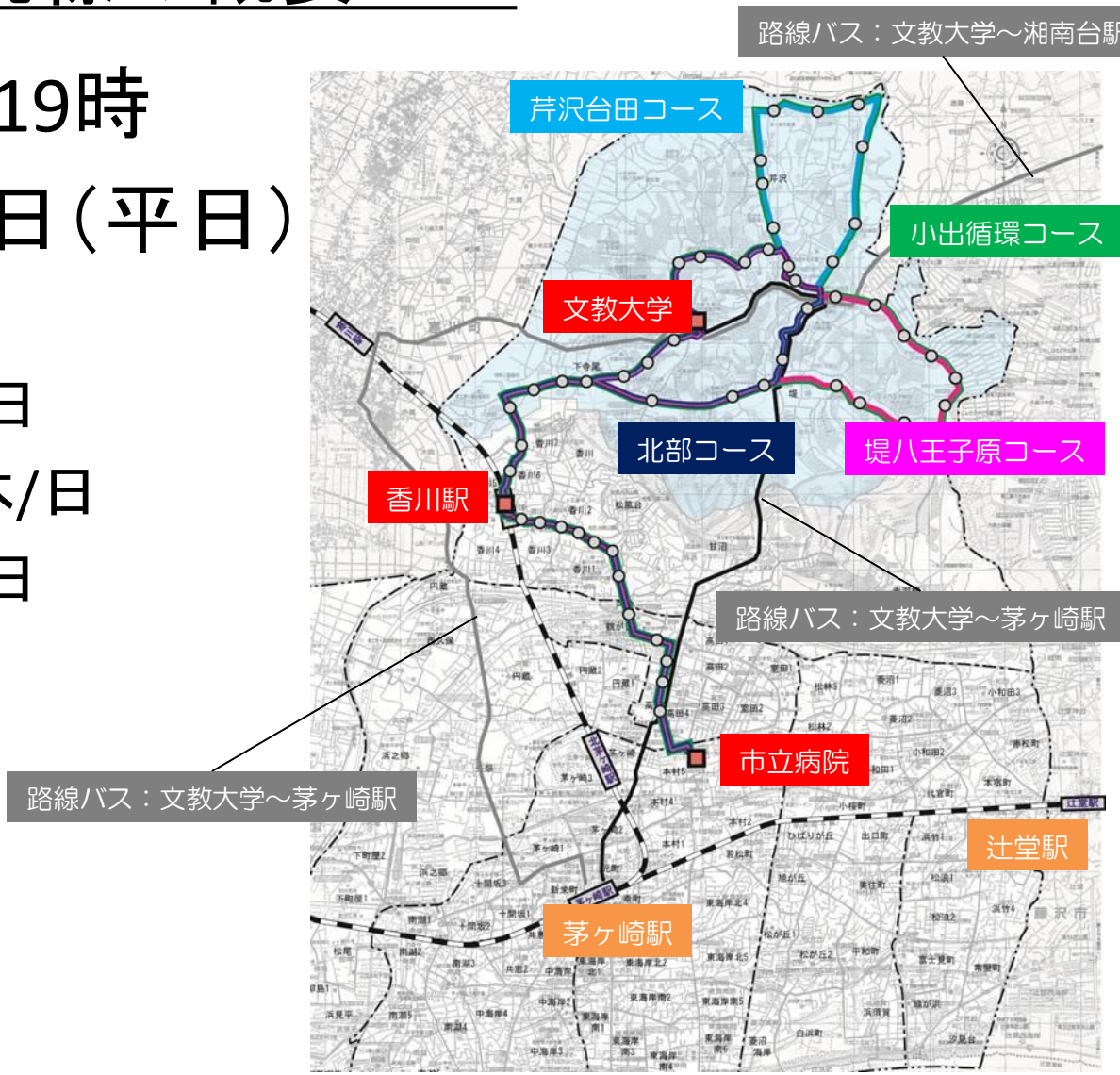
- 運行時間：7時～19時
- 運行本数：20本/日（平日）

  北部コース：6本/日

  芹沢台田コース：7本/日

  堤八王子原コース：6本/日

  小出循環コース：1本/日



② 現状の問題点・課題の整理

●問題点①：利用者数が少ない

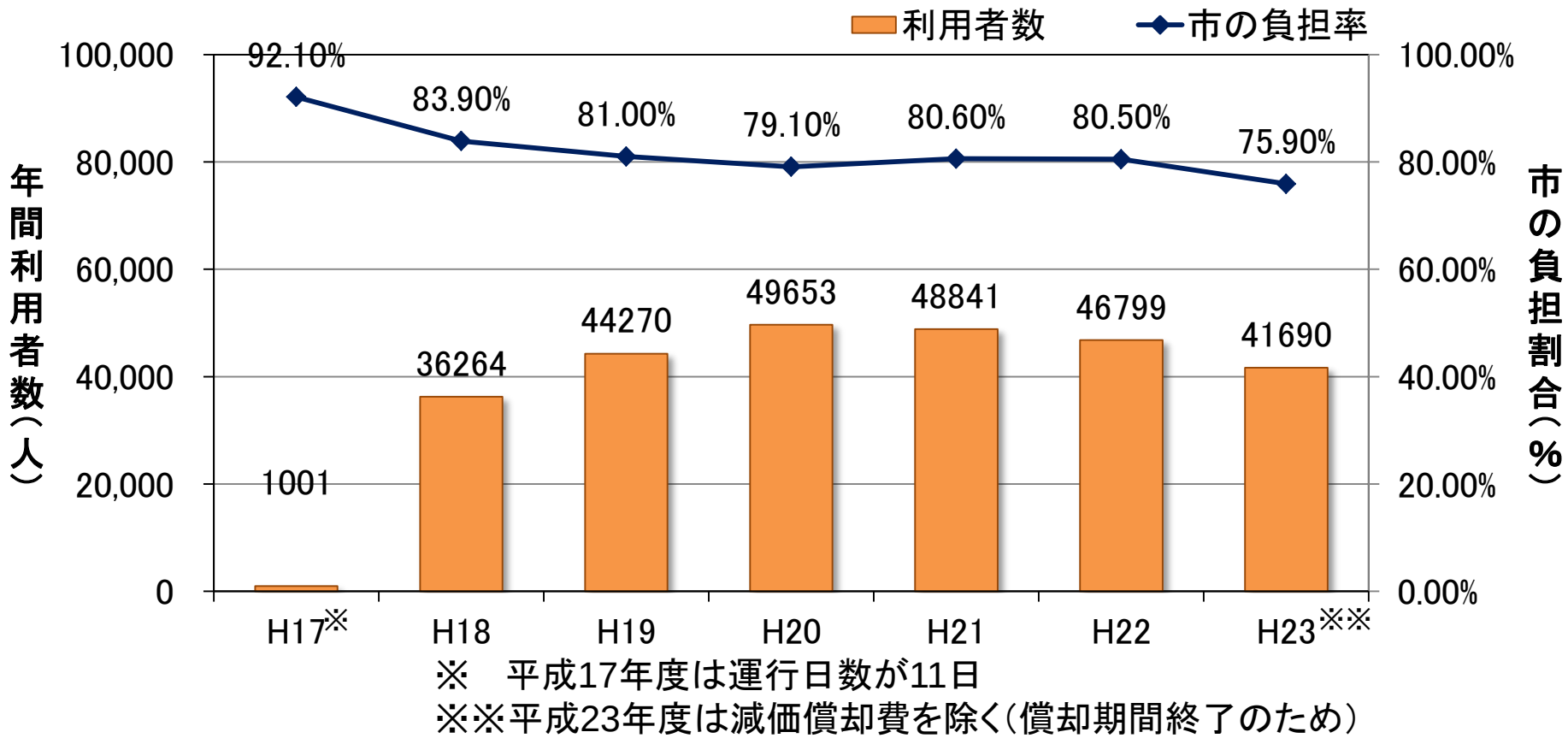
表　北部循環の利用状況（茅ヶ崎市全体との比較）

年間利用者数	北部循環	約4万2千人
	市全体	約40万人
1日あたりの利用者数	北部循環	約110人
	市全体	約1，100人
1便あたりの利用者数	北部循環	約6.3人
	市全体	－
運行経費に占める市の負担額（割合）	北部循環	23,752千円（75.9%）
	市全体	104,766千円（62.4%）

・1便あたりの利用者数が少ない（約6.3人）
・運行経費に占める市の負担額が大きい（約76%）

② 現状の問題点・課題の整理

●問題点①：利用者数が少ない



※　平成17年度は運行日数が11日
※※平成23年度は減価償却費を除く（償却期間終了のため）

図　北部循環の利用者数および市負担割合の推移

・H20を境に利用者数が減少傾向

② 現状の問題点・課題の整理

●問題点①：利用者数が少ない

- 芹沢台田コース、堤八王子原コース
  ⇒重複区間と比較し利用者数が少ない

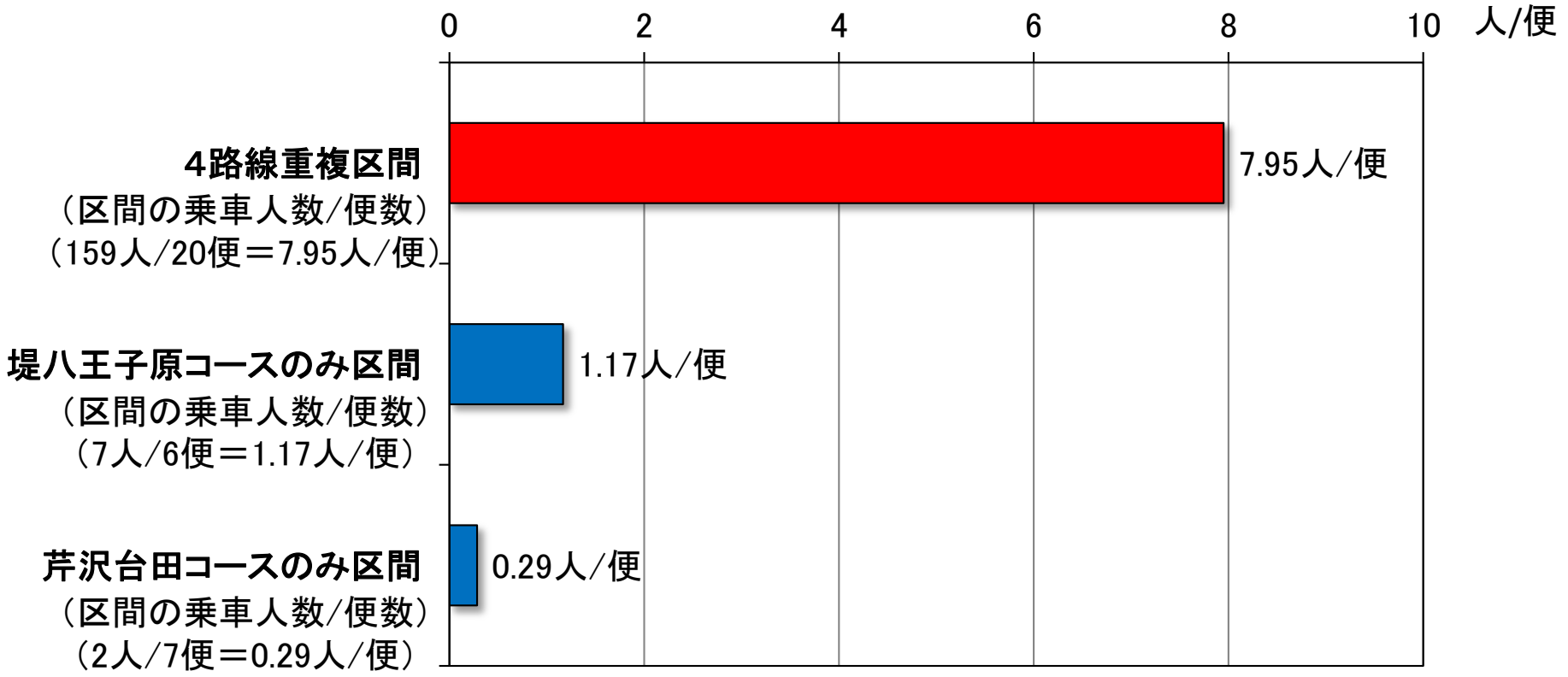
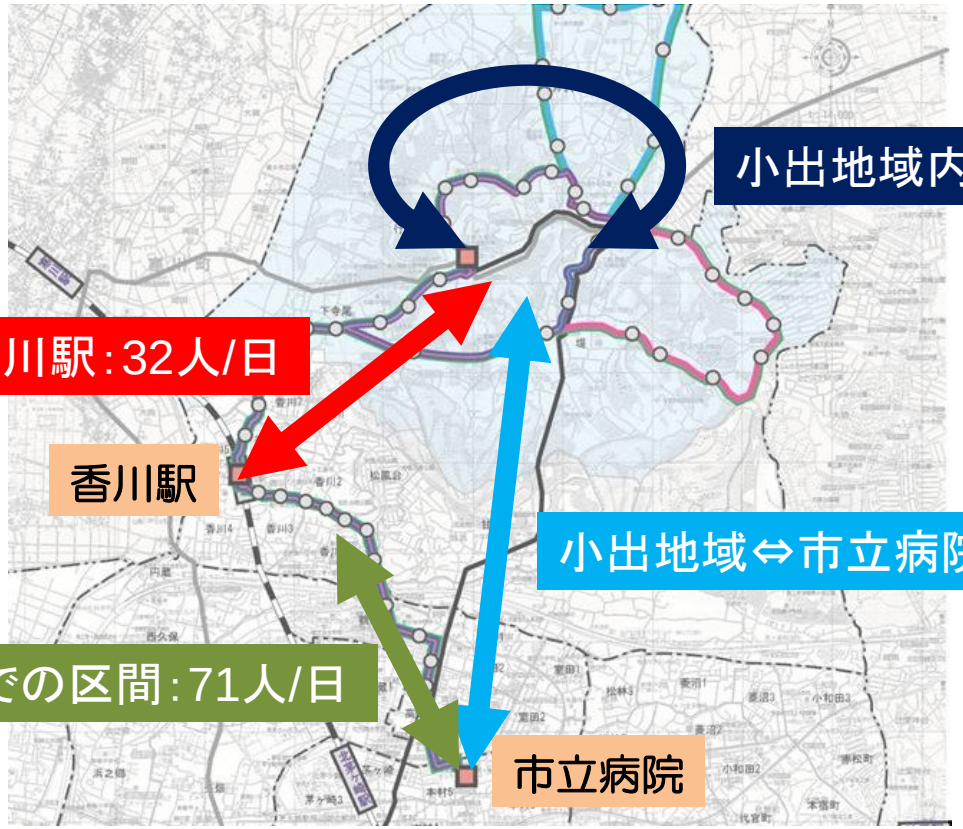


図　区間別の利用者数（平成24年度実施の乗降調査結果より）

② 現状の問題点・課題の整理

●参考：北部循環での区間別の利用状況



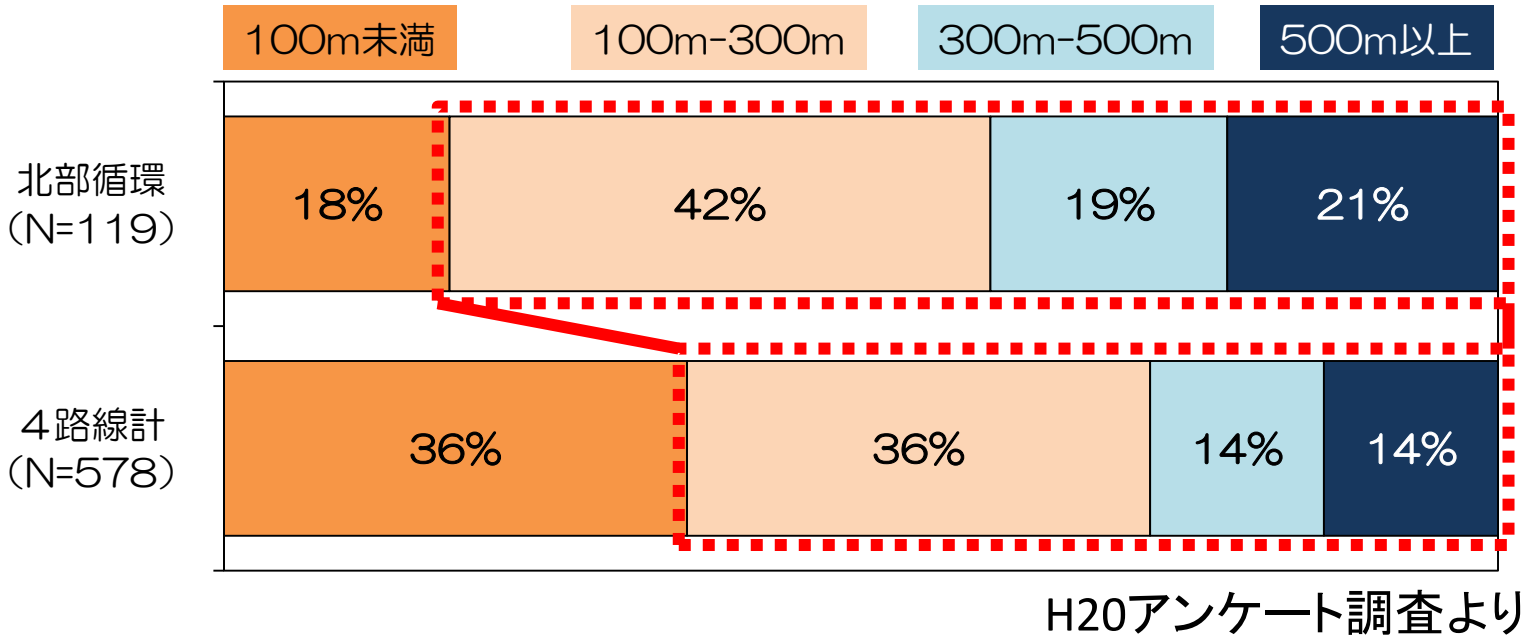
平成24年度実施の乗降調査より

小出地域から香川駅までの利用者が一定数存在

② 現状の問題点・課題の整理

●問題点②：サービスの提供範囲が不十分

- バス停から自宅まで距離のある方が多い



H20アンケート調査より

- 低密度の住宅地が分散して立地（各地区から新ルートの希望）
- 小出地域内は狭隘道路が多い
- 谷（やと）が多く存在することから、バス停まで高低差がある

小出地区の高低差分布

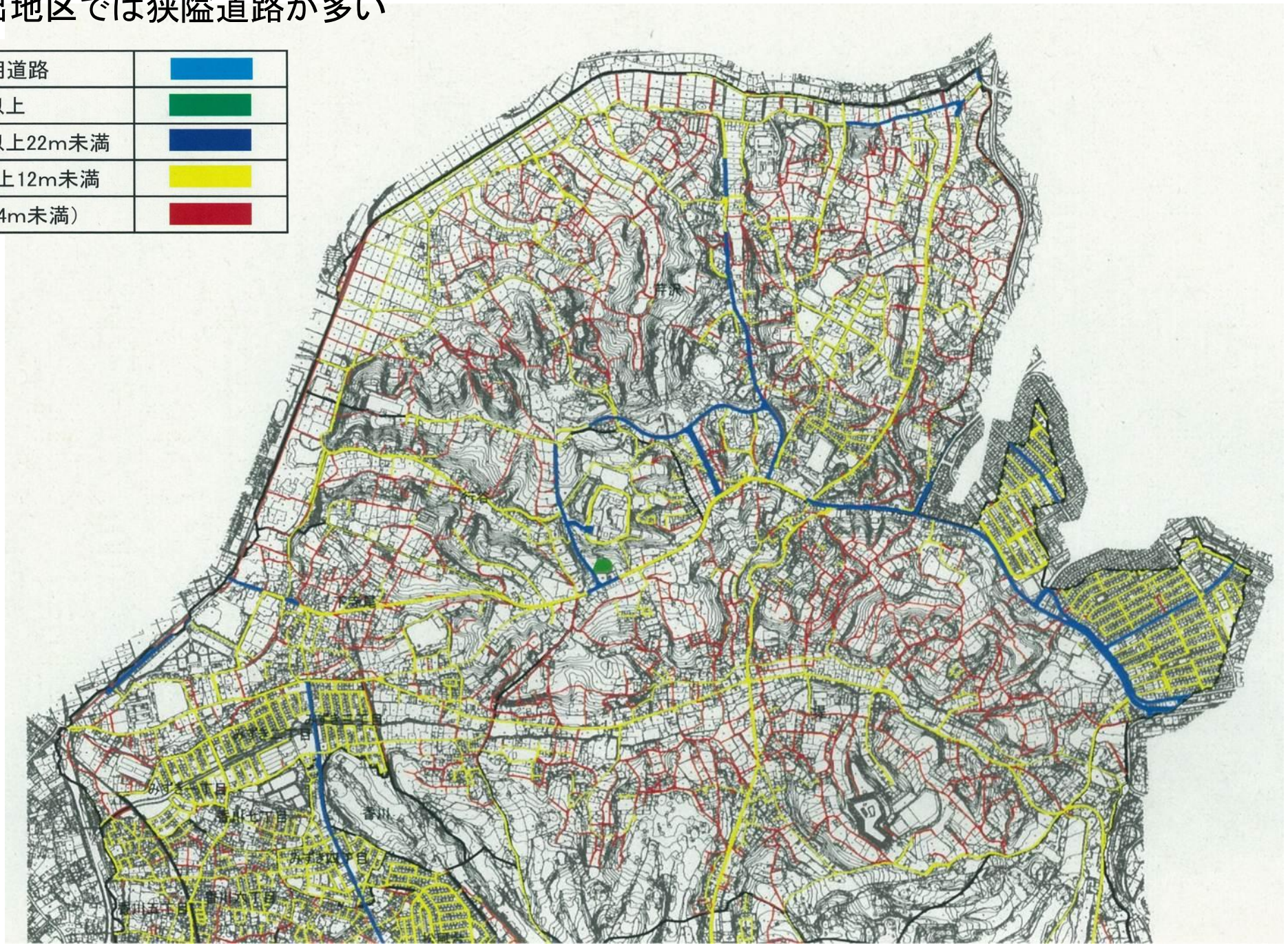
⇒小出地区は高低差が大きい

茅ヶ崎市　測量分布図

小出地区の道路分布状況

⇒小出地区では狭隘道路が多い

自動車専用道路	
幅員22m以上	
幅員12m以上22m未満	
幅員4m以上12m未満	
狭隘道路（4m未満）	



小出地区の高低差分布

⇒中心部と比較し
住宅が分散立地

② 現状の問題点・課題の整理

●北部循環の課題

以上の問題点を受けた課題

・小出地域での利用者数の増加が必要
・小出地域全体へのサービスの確保が必要

改善に向けたコンセプト

現行の予算内で、小出地域のニーズに合わせた
サービスの提供を目指す

小出地域の特性、利用状況を踏まえ

・市立病院～香川駅、文教大学、小出小学校は利用者数が多い
　⇒従来通り、定路線での運行による利便性確保を目指す
・小出地域内
　⇒予約型乗合バスを想定し、現行予算内で小出地域全体
　でのサービスの確保を目指す

③ 改善案（素案）の検討

●北部循環の改善方針

- 市立病院～小出地域

⇒コミュニティバスでの運行

⇒斎場コース、里山公園まわりコースを想定

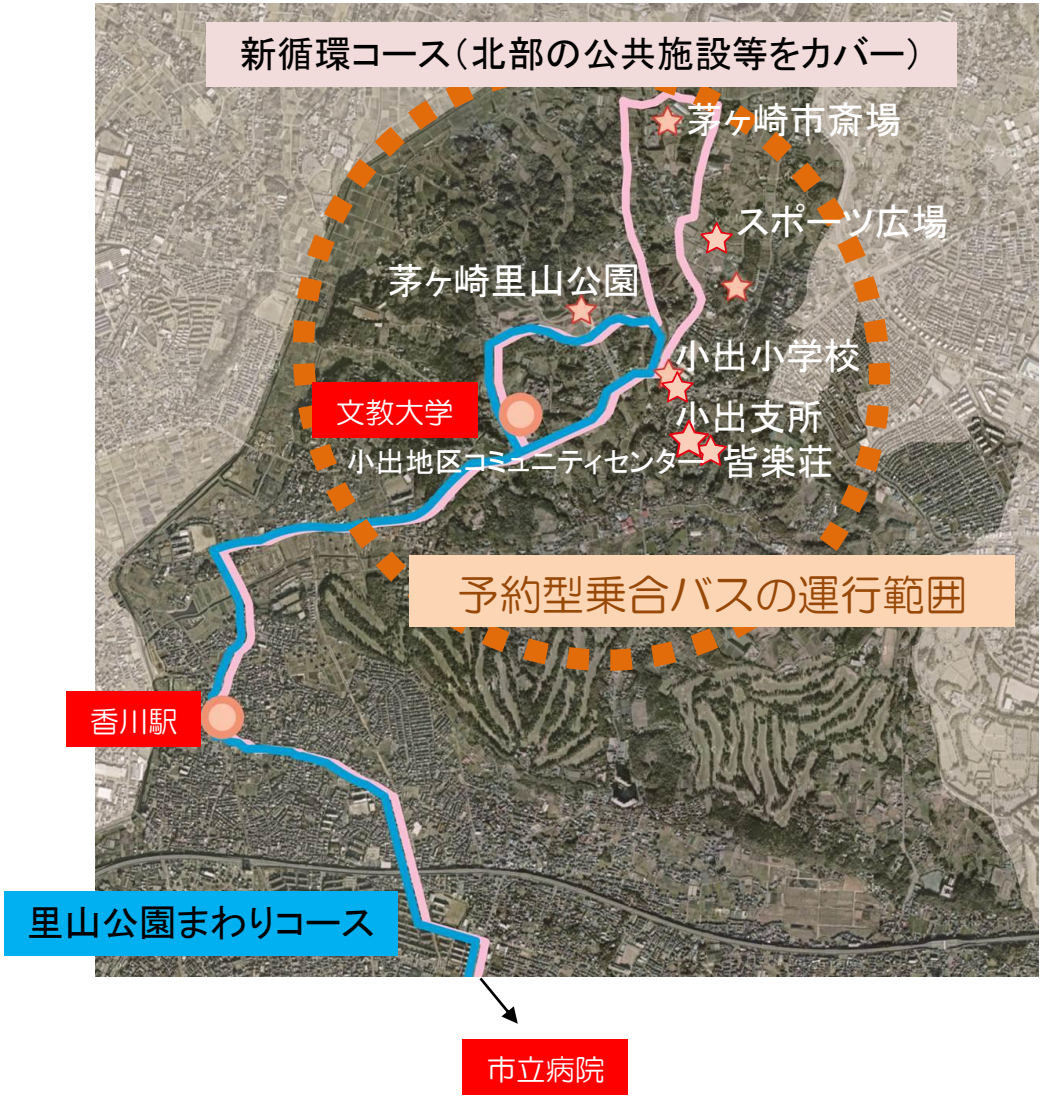
利用の多い区間での定路線サービスを維持

- 小出地域内

⇒予約型乗合バスでの運行

⇒文教大学・堤坂下等で路線バス、コミバスに乗継が可能

小出地域の全域をカバーしたサービス展開



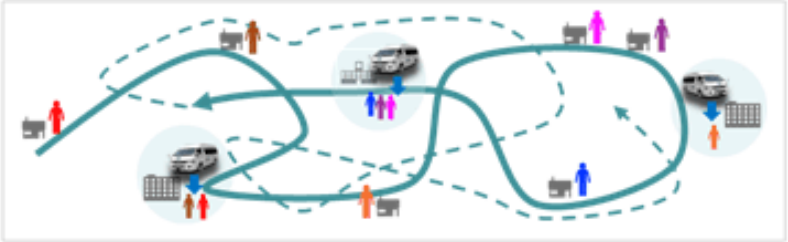
小出地域での予約型乗合バスの運行イメージ

③ 改善案(素案)の検討

●小出地域内での予約型乗合バスについて

⇒予約型乗合バスでの4つのシステム

①経路生成型フルデマンド



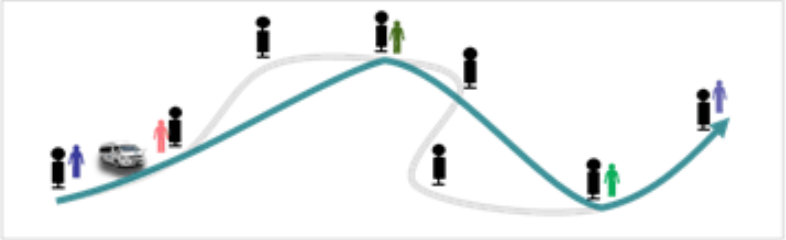
・個々の利用者の要求を受け、全体の運行効率を考慮しつつ乗合いを発生させながら運行する

②予約受付型デマンド

・個々の利用者の要求を受け、ドアツードアでタクシーのように運行する

・予約の可否および経路は熟練したオペレータの判断が必要となる

③路線固定型フルデマンド



・予約のあったバス停のみを巡回して運行する

・デマンド有無により運行の有無が判断される

④基本路線固定型デマンド

・予め決まった時間帯・ルートに沿って、同一方向へ向かう利用者を乗り合わせて運行する

③ 改善案(素案)の検討

●小出地域において望ましいシステム

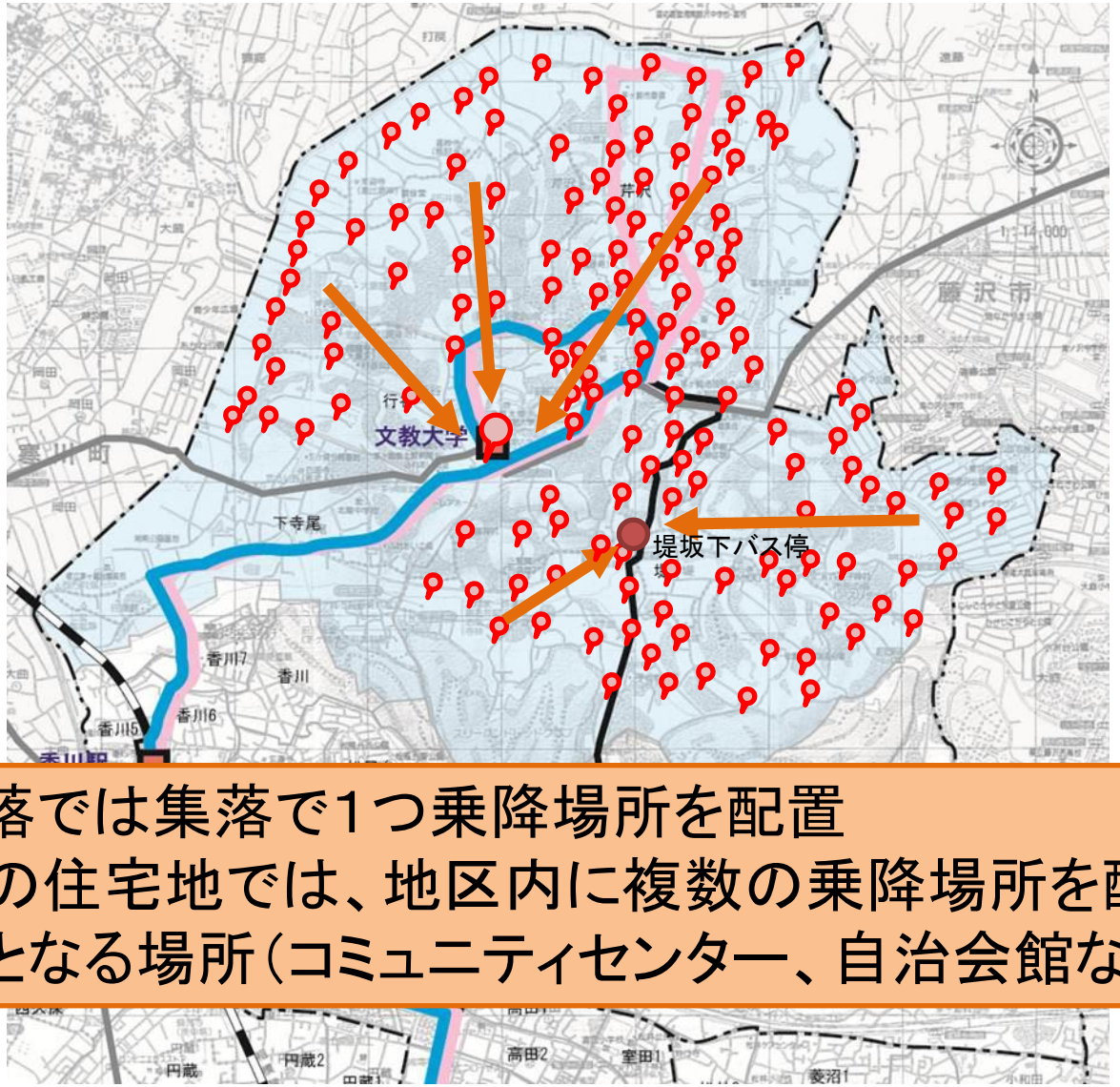
- 導入、運行コストを抑える
- 小出地区全体への移動手段の提供
- 運行が容易である

経路生成型フルデマンド(コンビニクル)を想定

・複数の自治体でサーバを共有
　⇒安価な初期費用による導入が可能
　⇒初期費用:50万円(従来の場合、初期費用:1,000万円)
・予約内容に応じて運行経路を自動作成
　⇒オペレータの負担の軽減が可能

③ 改善案(素案)の検討

●北部地域での予約型乗合バスの導入イメージ(例)



・小規模な集落では集落で1つ乗降場所を配置
・中規模以上の住宅地では、地区内に複数の乗降場所を配置
・地域の拠点となる場所(コミュニティセンター、自治会館など)を考慮

③ 改善案（素案）の検討

●予約型乗合バスのメリット、デメリット

	利用者（市民）	運行主体（茅ヶ崎市）
メリット	・小出地域のどこからでも利用が可能となる ・自宅周辺からの利用が可能 ・ある程度、自分の都合で、出かけることができる	・現状の経費負担で小出地区全域にサービスを展開できる可能性がある
デメリット	・利用の際に、登録・予約が必要 ・茅ヶ崎市の中心部などへ行く際に、乗継が必要 ⇒茅ヶ崎駅へは路線バス ⇒香川駅、市立病院へは コミュニティバス	・予約型乗合バスの導入に伴う利用者への周知が必要 ・オペレータ等の準備が必要 ・乗継を考慮した新たな運賃体系の設定が必要

③ 改善案(素案)の検討

●予約型乗合バスの利用イメージ

STEP1 **利用の予約**

利用したい時間帯
出発地、目的地を伝える

STEP2 **予約の確定**

予約センターより、出発時刻・
到着時刻の詳細を連絡します

STEP3 **予約型乗合バスの利用**

出発時刻に乗合バスが到着

目的地へ移動

③ 改善案（素案）の検討

●予約型乗合バスについて

- 予約はいつまでにするの？
  - 利用時間の１時間前までに予約
- いつ運行するの？
  - 利用者の予約の希望があり次第、その希望に見合う運行時間を設定します。複数の希望がある場合は、それらを調整して運行時間を設定します。
- 利用料金はいくら？
  - バスとタクシーの中間を想定

（市立病院までの乗継利用に配慮）

③ 改善案(素案)の検討

●予約型乗合バスについて

- コミュニティバス、路線バスへの乗継について
  - 市立病院へ向かうコミュニティバス、茅ヶ崎駅へ向かう路線バスへの乗継を希望する場合は、5～10分程度での乗継が可能な運行時間を設定

- 運行する車両
  - ワンボックス車両を想定

ワンボックス車両の例

④ 住民説明会の経過報告

●小出地区での改善案報告（第一回：7月29日）

・出席者：小出地区　各自治会長
・コミュニティバスの現状と予約型乗合バスの計画を説明
・予約型乗合バスの利用イメージについて、更に説明が必要

●小出地区での改善案報告（第二回：9月16日）

・出席者：小出地区　各自治会長
・予約型乗合バスの利用方法、利用イメージなどを中心に説明
・移動ニーズに見合うシステム、コストを踏まえた上での検討、
　今後の住民への示し方など、活発な議論が行われた
・夢のあるシステムであることを、利用イメージを更に伝えていくことが重要

●視察会の実施（10月4日を予定）

・山梨県甲州市のデマンドバス
・参加者：小出地区の各自治会長に参加を要請中

理解を深めていく

⑤ 今後の検討内容

●アンケート調査
- ・移動ニーズの把握
- ・改善案（素案）に対する意向の把握

●住民説明会
- ・改善案の説明
- ・改善案に対する意向の把握

⇩

●改善案の策定
- ・予約型乗合バス運行計画の作成（システム、車両台数など）
- ・コミュニティバスの運行計画の作成
- ・改善に向けたスケジュールの設定

⇩

＜地域公共交通会議＞

⇩

●改善計画の決定

●改善の実施